

令和2年2月8日

県立特別入試事前指導

先日、大相撲初場所で幕内で最下位に当たる幕尻の徳勝龍が、14勝1敗で初優勝を果たしました。徳勝龍は、2009年の初土俵から、十両転落を繰り返し、4期ぶりに十両から幕内に復帰した今回、見事優勝しました。

前回、「最後まであきらめない気持ちが必要」という話をしましたが、まさにその気持ちがあったからだと思います。

今日は、もう1人、鈴木 章（すずき あきら）という人の話をします。この人は、10年前、ノーベル賞をもらった科学者で、今の有機ELテレビの元を発見した人です。岡山理科大学や倉敷芸術科学大学の名誉教授もした人です。

この人は、「チャンスは皆に平等にある。後は、努力や、注意深さや、熱心さがあるかだ。」と言っています。誰にでも限りのある時間を最大のチャンスだと考えて取り組むことが成功の秘訣と行っています。

話は戻って、徳勝龍ですが、横綱が休場したからチャンスが来たのはあるかもしれませんが、そのとき思ってもこのような結果はついてこなかったと思います。何度も十両に落ち、失敗して悔しい思いをしてきたからこそ、今場所も頑張ろうと積み上げてきたことが今回の結果につながったのだと思います。

みなさんも、私立一期の結果や今回の試験にのみとらわれるのではなく、自分の将来を見据えて「時間を最大のチャンス」にしてほしいと思います。

明日の受験は、みんなが徳勝龍になれるよう応援しています。